

事業名	心の教育推進事業			評価実施者	所 属	心の教育推進室
					職・氏名	室長 吉川 修

主要事業の概要	開始年度	H7	根拠法令等	特定財源	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他〔 〕			
	目 的	いじめの根絶と学校におけるいじめの早期発見、早期対応への取り組みの支援			
事業内容	①教育相談体制の充実 ②いじめ対策連携プロジェクト実践事業の推進 ③児童生徒の心に響く道徳教育推進事業の推進				

事業コスト	区 分	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	特 記 事 項
	事業費(A)		5,354	7,261	6,535	962	
	うち一般財源			2,057	4,975	591	
	人件費(B)			7,094	7,484	7,319	
	総コスト(A)+(B)	0	5,354	14,355	14,019	8,333	

実績と成果	区 分	単 位	H17	H18	H19	H20	H21	左記以外の20年度の実績・成果 ◇20.12月実施のアンケート結果(いじめを今も受けている件数229人)	
	事業の実績 (アウトプット)	1 教育相談員の配置	校		10	10	10		11
		2							
		3							
	事業の成果 (アウトカム)	1 学校いじめ認知件数	件		66	29	24		
2 いじめアンケート		件		204	193	229	224		
3									

評価項目	点数	判定及び説明・考察	
1 適応性有効性	9	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1
		②事業の目的に照らして効果的な手法か。	□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
いじめの根絶は、保護者や児童生徒をはじめ市民すべての願いであり、悲しい事故を再発させない学校づくりが急務である。いじめの早期発見、早期対応のために、マニュアルを作成して現場の教員が活用する。また、学校単位の研修会を実施する。			
2 目標達成度	9	③目標の水準は適切か。	■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1
		④計画通りに目標を達成できたか。	□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
いじめの根絶を掲げ、いじめにない学校生活を送るのが目標である。			
3 経済性	5	⑤コストは縮減しているか。	■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1
		事業の実施にあたっては、道教委の委託事業の活用を図るとともに、最少の経費で運営しており、達成している。	

総合評価	合計	23	ランク (A~E)	上記評価を踏まえた事業の課題	学校における教育相談体制の充実のための支援。また、児童会や生徒会活動を通していじめ根絶への取り組みを充実を図る。
	100点換算	92	A		
				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピートアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input type="checkbox"/> 現状維持	

【評価点数】

5 : 十分できている 4 : できている 3 : ほぼできている 2 : あまりできていない 1 : できていない

【総合評価ランク】

- A : 86点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
- B : 71~85点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
- C : 56~70点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
- D : 41~55点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
- E : 40点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

評価項目	点数	判定					点検・評価に関するコメント	
1 適応性有効性	9	①	■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1					
		②	□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1					
2 目標達成度	8	③	■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1					
		④	□ 5 □ 4 ■ 3 □ 2 □ 1					
3 経済性	5	⑤	■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1					
		合計	22	100点換算	88	ランク	A	

①保護者や地域などへも、心の教育の推進状況を知らせることに取り組んで欲しい。
②中学校で再発したことを重く受けとめ、更なる充実を図ることが必要。

事業名	目的	概要	成果	事業費の主な内訳
<p>○心の教育推進に要した経費 225P</p> <p>予算の主な内容</p> <p>①教育相談員報酬 5,930 千円 全校配置分</p> <p>②SC報酬 2,643 千円 市採用（臨床心理士）</p> <p>③PTA活動支援 600 千円</p> <p>④その他諸費 報酬 3,026 千円 ・乙中少人数学級教諭 ・いじめプロ事業（武藤備品購入費 485 千円 ・学校サポート事業</p>	<p>■心の教育推進プラン（H18年策定）の中期プログラムの目標である、いじめの根絶に向けた、行動指針となる「改革と行動プログラム」の具現化のための事務事業</p> <p>■教育相談体制の充実 ・教育相談員 ・スクールカウンセラー</p> <p>■PTA活動として取り組む家庭教育講座や図書整備への補助</p>	<p>■道教委指定「いじめ対策連携プロジェクト」と文部科学省指定「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」を中心に事業展開した。事業内容は別紙。</p> <p>■児童生徒の問題行動への対応や生徒指導体制を充実させるために、学校に配置</p> <p>■学校単位ごとのPTA活動を通して、家庭における子どもを育てる講座などを支援</p>	<p>■委託事業成果は別編集</p> <p>■学校の生徒指導体制の中に位置づけ、きめ細かな対応が可能となった。</p> <p>・教育相談員（教諭等）7校 ・教育相談員（大学生）2校</p> <p>■少人数指導の実践 ・学級支援教諭 2校</p> <p>■子育て講座などの情報交流を通して親同士のネットワークづくりに成果があった。</p>	<p>①教育相談員報酬 4,881 千円 ②SC報酬 2,603 千円 ③PTA活動支援 600 千円 ④その他諸費 報酬 3,000 千円 ・乙中少人数学級教諭 ・いじめプロ事業（武藤備品購入費 485 千円 ・学校サポート事業</p>
<p>○適応指導教室の運営に要した経費 225P</p> <p>予算の主な内容</p> <p>①指導員賃金 1,039 千円</p>	<p>■不登校児童生徒の通級指導教室での学習支援や教育相談を通して学校への復帰</p>	<p>■通級指導教室「ふれあいルーム」の運営 拠点 中央児童センター 指導体制 嘱託（教諭資格）2名 臨時（教諭資格）1名</p>	<p>■通級実績等は別紙</p>	<p>①指導員賃金 1,039 千円</p>

<p>いじめ対策連携プロジェクト・緊急実践事業</p> <p>※歳入 1,560,289円</p>	<p>新たないじめ対策プログラムの確立に向け、学校、家庭、地域、関係機関が連携し、地域ぐるみでいじめの根絶に向けた取組を推進するための効果的な方策について調査研究を行う。</p>	<p>①いじめ対策連携プロジェクト会議の設置</p> <p>②いじめに対応する校内システムの構築</p> <p>③カウンセリング研修会の開催</p> <p>④放課後子ども活動推進事業 農業体験学習・老人福寿大学との交流活動・外国青年との国際交流活動</p> <p>⑤大学生フレンドシップ事業 西小・東栄小へ國學院短大生を派遣</p> <p>⑥ようこそ！先輩！事業 21年3月 こうたろうコンサート、山崎修さんと語る会を実施</p> <p>⑦地域連携教育セミナー事業 11月29日教育講演会 講師：小森美登里氏 演題：「いじめって何ですか？」～いじめに対する大</p>	<p>⇒市内の関係機関・団体から推薦のあった委員が一堂に会していじめ対策に関わる意見を交流できた。</p> <p>⇒「いじめ問題指導マニュアル」を21年2月に発行。 ※市内教職員に配布し、活用</p> <p>⇒教職員のカウンセリング技術の向上をはかる。</p> <p>⇒地域の方、高齢者、異年齢の子どもたちが交流の中で、他人への感謝や思いやりの心を育んだ。</p> <p>⇒子どもと年齢の近い大学生を活用することで、子どもが相談しやすい体制を作り、児童の望ましい人間関係づくりを支援した。</p> <p>⇒滝川市にゆかりのある人材を活用した特別授業等を展開し、いじめ防止や人間関係の大切さ等のメッセージを伝えた。</p> <p>⇒いじめによるわが子の自殺という体験をした講師による講演内容を通して親と子どもの関わり方やいじめに対する大人の認</p>	<p>対象事業費</p> <p>●心の教育推進に要する経費</p> <p>コーディネーター報酬 576,000円</p> <p>教育相談員（大学生）報酬 183,000円</p> <p>報償費 276,997円</p> <p>旅費 21,040円</p> <p>消耗品費等 524,292円</p> <p>計 1,560,289円</p>
---	---	---	--	---

		人の認識を考える～ 参加：保護者、一般住民、 教育関係者など約300名	識等について学ぶことが できた	
★道徳教育実践研究事業 ※国費支出のため予算 計上なし	各都道府県において、学習指 導要領の趣旨並びに児童生 徒、学校、家庭、及び地域の 実態を踏まえ、創意工夫を生 かした道徳教育を推進する ための実践研究を行い、その 成果を普及することにより 道徳教育の充実に資する。	・道徳教育実行委員会の開催 （3回） ・専門部会員による授業実践 （6回） ・道徳教育研修会の開催 （8月5日、講師：道教育大 大学院教授 笠井稔雄氏） 内容：「これからの道徳教 育の在り方」 ・道徳教育実践発表会の実施 （滝川第一小、江部乙小）	・成果物として、実践報告書 及び指導案集を作成し、市 内小中学校や管内教育委 員会（24市町）等へ配布 し、市内のみならず、管内 の道徳教育の充実に寄与 した。	※国費事業費 583,733円
★スクールカウンセラー活 用事業（北海道） ※道費支出のため予算 計上なし	学校における教育相談体制 の充実を図るため、児童生徒 の臨床心理に関して高度に 専門的な知識を有する者を スクールカウンセラー（2名） として配置し、それらを活用 する際の諸課題についての 調査研究の実施を行う。	江部乙小学校、江陵中学校、 明苑中学校、開西中学校、江 部乙中学校へスクールカウ ンセラーを派遣し、昼休み、 放課後などを活用した児童 生徒のカウンセリングや生 徒との接し方に不安を抱え ている保護者を対象とした カウンセリングの実施、ま た、スクールカウンセラーと 担任・養護教諭との連携、守 秘義務を前提にしつつ担任 等との情報の共有を図った。	相談室などを設置し、不安を もつ児童生徒の心の居場所 を確保することや問題行動 に対してスクールカウンス ラーを緊急派遣し、加害者・ 被害者等に対応することが できた。 また、スクールカウンセラー と学校、保護者との連携が図 られ、スクールカウンセラー の役割などが理解されるよ うになった。	※道費事業費 3,119,880円 ※スクールカウンセラー ・関 勲氏（開西中） 勤務 週1日 4時間 ・河原 由紀氏 （明苑、江陵、江部乙小・中） 勤務 週1日 4時間 （明苑・江陵） 週1日 6時間 （江部乙中） 週1日 2時間 （江部乙小）